

学校関係者評価

大項目	No	評価項目	保護者	教員	自己評価の適切さ	方策の適切さ
学校教育目標	1	互いに認め合い、自分で判断し、行動できる生徒を育成している。 【今年度の取組】スクールカウンセラー事業、いじめ防止講話、教育相談、個人面談	2.8	2.8	3.3	3.0
		【成果】スクールカウンセラー事業や日常的な教育相談の他にいじめ防止講話を実施できた 【課題】生徒の自己評価が保護者・教職員より0.4pt高いが、対人関係で悩む生徒も見られる 【改善の方策】学校生活の様々な場面をとおして、柔軟な人間関係、認め合える関係づくりを促す				【コメント】 外部講師による取り組みや学校内の取り組みを通して望ましい人間関係作りが進められている。 取組の効果を検証・改善していく仕組みがより明確になると評価も高まる
	2	主体的に責任感をもって物事に取り組む生徒を育成している。 【今年度の取組】浜高祭、体育大会、球技大会、教育相談、個人面談	3.0	2.9	3.7	3.7
		【成果】強歩遠足から体育大会に変更したことで、種目の設定など生徒の主体性が見られた 【課題】生徒数が減少したことにもない行事における準備等にかかる負担が増えている 【改善の方策】日程の変更やプログラムの削減など、生徒が集中して取り組める内容を検討する				【コメント】 生徒の自律的な活動のほかに、地域を巻き込んで、協力いただくことでプログラム削減を緩和してほしい。
	3	地域を理解し、貢献していこうとする生徒を育成している。 【今年度の取組】総合的な探究の時間、地域ボランティア	3.1	3.2	3.8	3.7
	【成果】地域巡検やインターンシップをとおして、将来地元で暮らすイメージを持つ生徒が増えた 【課題】地域資源を活用したキャリア教育と地学協働の取り組みの継続 【改善の方策】中学校の先生や中学生の保護者に本校の取り組みや学習・進路指導を早期にアピールする				【コメント】 出身中学校に来て、在籍生徒が満足して学生生活を過ごしていることを紹介していただきたい。	
学習指導	4	自ら学ぶ姿勢を生徒に身につけさせるため、適切な課題を与え、家庭学習の充実を努めている。 【今年度の取組】スタディサプリ、各種検定、漢検全員受検	3.0	2.7	3.5	3.5
		【成果】各種検定、特に漢字検定に向けた取り組みが向上し、スタディサプリを活用できている生徒もいる 【課題】学力差が大きい集団に対する個に応じた授業の実践とICTコンテンツの活用 【改善の方策】各種検定に向けて学校全体で取り組む姿勢の醸成とICTコンテンツのより積極的な活用				【コメント】 スマートフォンで手軽に学んだことの習得割合が実感できるコンテンツの活用を期待する。
	5	生徒の学力・学習の状況を把握し、個に応じた指導を適切に行っている。 【今年度の取組】進学講習、夏期・冬期講習、各種模擬試験、授業公開	3.0	3.2	3.7	3.7
		【成果】習熟度別授業やゼロワン講習等、個別最適な指導の実践と授業公開日の拡大 【課題】教科指導の研修機会の不足と個に応じた指導内容の教科横断的な検討 【改善の方策】ICTコンテンツを利用した教科指導力の向上と授業公開などによる外部による授業評価				【コメント】 目標達成のロードマップを作成し、生徒が取り組むことと教師の関わりを明確にして評価・改善を繰り返す。生徒による教員評価も必要。
	6	考査や普段の取組などをもとに適切に評価している。 【今年度の取組】単元テスト、教育相談、個人面談、教務研修、教科担任会議	3.1	3.5	3.7	3.7
	【成果】定期的な教科会議と観点別評価についての研修、単元テストにおける評価の実践 【課題】新学習指導要領を見据えた評価の捉え方と単元テスト等による到達状況の見取り 【改善の方策】各教科が単元テストやICTコンテンツなど複数尺度による評価を積極的に実践する				【コメント】 自己評価と他者評価の乖離をうめる改善方策の検討。	

大項目	No	評価項目	保護者	教員	自己評価の適切さ	方策の適切さ
生徒指導	7	生徒の規範意識や他者を認める意識を高め、安全で安心して学べる環境が保たれている。 【今年度の取組】交通安全講話、薬物乱用防止教室、スクールカウンセラー事業、いじめ防止講話	2.9	2.5	3.3	3.5
		【成果】交通安全講話、薬物乱用防止教室の他にいじめ防止講話を実施できた 【課題】幼い頃からの人間関係、慣れなどに起因する遠慮のない言動による生徒間の摩擦 【改善の方策】グループエンカウンタ等の手法を用いた人間関係づくりと他者を認める意識の涵養	【コメント】 生徒間で協力して達成するプログラムの計画的な実施。			
	8	学校行事や部局活動へ主体的に取り組むことができる環境がつけられている。 【今年度の取組】浜高祭、高体連・高文連大会、体育大会、球技大会	3.0	3.4	3.5	3.3
		【成果】吹奏楽局の合同編成、卓球部や陸上競技の全道大会参加など生徒の活動を支援する顧問体制 【課題】中学校の部活動の地域移行に伴う、部局の再編成と地域との連携 【改善の方策】地域移行したクラブ活動と本校の部活動との連携、部局の再編成	【コメント】 部局活動に期待するところは大きい。特に吹奏楽に興味を持つ生徒が本校に多い。			
	9	保護者と情報を共有し、いじめや問題行動などに適切に対応している。 【今年度の取組】いじめアンケートの実施、いじめ防止講話、個人面談	2.7	2.7	2.7	3.2
		【成果】いじめアンケート(3回実施)によるいじめの認知件数は0である 【課題】いじめの定義や学校の対応について、保護者・生徒と共通認識をもつこと 【改善の方策】いじめの定義・対応について、丁寧な説明と文章配付による確認をし、早期に共通認識を醸成し、体系化した道徳教育も行う	【コメント】 いじめ認知件数「0」のみをもって安心することなく、また対話の機会を設けたり、道徳教育の計画化を進めていただきたい。			
進路指導	10	生徒一人一人の能力・適性を把握し、進路希望を踏まえた指導を行っている。 【今年度の取組】進路希望調査、進学講習、夏期・冬期講習、模擬試験、各種検定	3.0	3.2	3.7	3.7
		【成果】進路希望調査結果の情報共有による個に応じた進路指導、科目選択等の実施 【課題】高い学力を求められる大学への進学を希望する生徒に対する組織的な指導の工夫 【改善の方策】ICTコンテンツを利用した発展的な内容の自習とサポート体制の構築	【コメント】 大学進学するために浜頓別高校を志望するという意識が高まるように、進学実績、進路指導の効果的な取り組みを広報したほうがよい。			
	11	地域教育活動を効果的に実施し、社会人や職業人としての意識を高められている。 【今年度の取組】インターンシップ、職業分野説明会、進路体験学習、高校内企業説明会	3.1	3.4	3.8	3.7
		【成果】地域巡検やインターンシップや高校内企業説明会を通して、地元や企業理解に繋がった 【課題】教職員の地学協働への意識の涵養と地域資源を活用したキャリア教育の継続 【改善の方策】個人の力に寄らない地学協働の枠組みの形成と教職員の校外での活動促進	【コメント】 地域に根差した、地域の協力のある高校と認識できる。協力企業やキャリア教育実績を知らせてほしい。 地元や企業理解が進んだ取り組みは今後も継続していただきたい。			
	12	進路に関する情報を提供し、生徒の進路に対する意識を高められている。 【今年度の取組】進学相談会、職業分野別説明会、高校内企業説明会、三者面談	3.0	3.0	3.7	3.7
	【成果】進学相談会や企業説明会の他、大学等の教授を招いた進路ガイダンスを実施した 【課題】相談会や説明会、ガイダンスに参加する専門学校・大学・企業の確保と調整 【改善の方策】開催時期の分散、生徒の希望や社会状況を見据え職業・学問分野を精査する	【コメント】 大学パンフのように、進学した先輩の充実した姿を広報していただきたい。 外部からの講師等を招聘した取組は今後も充実させていただきたい。				

大項目	No	評価項目	保護者	教員	自己評価の適切さ	方策の適切さ
健康・安全指導	13	防災や防犯、交通安全に係る適切な教育を実施し、生徒の安全に配慮した判断力や行動力を高めている。 【今年度の取組】1日防災学校、交通安全講話、防犯教室、避難訓練	3.1	3.0	3.7	3.7
		【成果】避難訓練や1日防災学校等の体験活動をととして、安全に関する判断・行動力を高めた 【課題】登下校等における熊出没時への対応や地震における避難行動の確認が必要 【改善の方策】教職員による危機管理マニュアルの精査と週休日等の不測事態における連絡体制の確認	【コメント】 防災メールや危機管理情報チャットなど、情報共有手段を整理することも進めていただきたい。			
	14	生徒の健康や安全について適切に情報提供や指導を行い、生徒の健康に対する意識を高めている。 【今年度の取組】定期検診、健康相談、健康教育講話、子ども理解支援ツールの活用、保健だより	3.0	3.4	3.5	3.5
		【成果】外部講師による保健指導や保健だよりの発行、「ほっと」やPSIを教育相談に役立てた 【課題】特別な配慮が必要な生徒やメンタル的不調がある生徒に対する支援 【改善の方策】ストレス状況を適切に把握し、カウンセリングや早期介入、外部機関へつなげる	【コメント】 中学校で不登校であった生徒でも自立し、不登校が改善したというような事例を積み上げてほしい。入学者数と卒業生数が同じ高校であってほしい。			
保護者連携	15	広報やホームページなどを通して本校の教育活動に係る情報を発信するとともに、地域の声に耳を傾けている。 【今年度の取組】広報はまどんべつへの寄稿、ホームページの更新、ポスター制作、浜高だより	3.0	3.1	3.5	3.3
		【成果】広報やホームページでの発信の他にポスターを作成し、生徒の様子を発信した 【課題】広報やWEBの発信だけでは、実際に学校の様子が中学生やその保護者等に伝わらない 【改善の方策】広報やWEBは継続し、学校開放的な行事や生徒が地域に関わる取組を積極的に行う	【コメント】 猿払村や中頓別町に浜頓別高校の教員や生徒が広報する場面を作っていたい。 行事や生徒の様子をまとめたポスターはWEBとは違って誰でも見ることができる点で効果的だと思うので工夫して継続するとよいと思う。			
	16	PTA活動や地域との交流は多くの保護者や教職員が参加できる活動になっている。 【今年度の取組】PTA役員会、PTA総会、PTAバザー、三者面談、授業参観	2.9	3.0	3.7	3.7
		【成果】授業公開日を増やし、学校祭や体育大会等への参観を保護者以外にも案内した 【課題】PTA役員会・総会の出席率、PTAの主体的活動への転換 【改善の方策】保護者や町教育関係者が気軽に学校に関われる環境作りを模索する	【コメント】 浜頓別高校の広報になる企画が自治体でもできるように検討します。			

それぞれの項目で、4段階で評価をお願いします。

【自己評価の適切さ】

4 適切な評価である、3 ほぼ適切な評価である、2 やや不適切な評価である、1 不適切な評価である

【改善の方策の適切さ】

4 十分な効果が期待できる、3 ほぼ十分な効果が期待できる、2 あまり効果が期待できない

1 全く効果が期待できず、改善を要する

【コメント】

助言・提案があれば記入をお願いします。